

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/02/26号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

Gold堅調、円建ても上昇続く

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



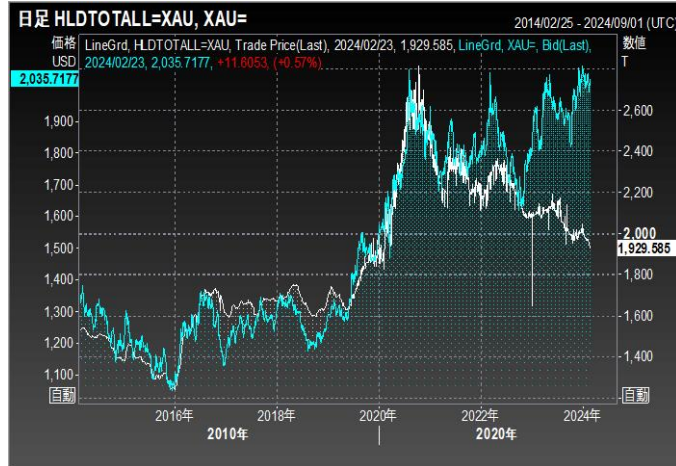
旧正月明けのマーケットは堅調な推移となりました。上海ゴールドは一週間の連休のあとでも、Loco London Goldに対して50ドル以上のプレミアムで始まり相変わらずの中国でのゴールド需要の強さを示すものとなりました。1月の上海黄金交易所（SGE）からの現物の引き出しは271トンと史上最大のものとなりました。中国ではSGEでゴールドの現物を買うと増値税（付加価値税）が免除されるので、この数字が中国の個人需要を示すと考えていいのですが、今それが史上最大になっていると言えます。この「現物買い」が欧米の投資家の金利高を見ての先物やETFのゴールド売りを吸収しているというのが現在のゴールドマーケットの力学です。FRBが利下げに動けば、これまで金利高を理由にゴールドを売っていた欧米の投資家も売りから買いへと転換するでしょう。その時がゴールドが現在のレンジを超えて上昇するということになるでしょう。前週はドル建てゴールドもじわりと上昇しましたが、株式市場のNvidiaの決算が金融市場全体の注目を集めた感があり、貴金属はほとんど無視されたような状態でしたが、金曜日には2030ドルを超えて上昇、一時2040ドルにタッチしました。そしてさらに注目すべきは円建てゴールドです。円建てゴールドの歴史的な高値は12月4日につけた10040円の瞬間値ですが、まさにあれば月曜日の朝の参加者がまだほぼ誰もいない東京オープン前のGlobexオープンに入った大きなおそらくショートの損切りである成り行き買いという非常に特殊な出来事であり、そのオーダーがすべて買い終わるとマーケットは急落というものでした。前週の円建てゴールドは9852円で終わりました。日足のチャートでみるとこれは歴史的な高値ということになります。前回の特殊な状況を考えると今回のこの上昇はまさにマーケットの正常な値動きによる上昇ということが言えるでしょう。ドル建てゴールドの堅調と円安の動きにより円建てゴールドが歴史的な高値を瞬間的ではなく更新する可能性は非常に高いと思います。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

「シルバーの現状」

残念ながらやはり23ドル台ではシルバーは売られるという展開が続いています。金銀比価もふたたび88~89へ。ゴールドと違って中央銀行によるサポートが存在しないのが厳しいところです。シルバーが本格的に上がるのもFRBによる利下げが必要なようです。



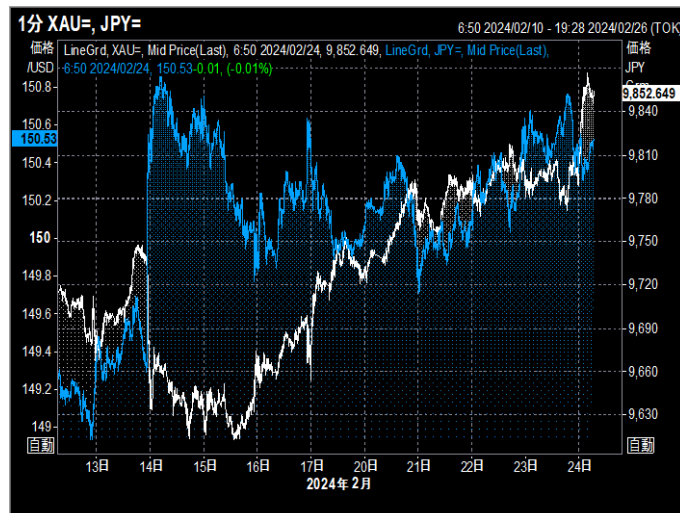
Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド

「プラチナの現状」

続騰したパラジウムとくらべてプラチナは頭が重たい展開となりました。パラジウムのプラチナに対するプレミアムはふたたび70ドルまで拡大。プラチナのレンジ取引はまだまだ続きそうです。OSEの先物のプレミアムが大きくなっており、900ドル割れはOSEが買い、上がってくるとそれを利食うという日本の投資家の行動もこのレンジを支えている力になっているようです。



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで